

事業所名

らくりあ

支援プログラム

作成日

R8 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		人と人を繋ぐ架け橋を創造する					
支援方針		楽しいこと、嬉しいことをたくさん経験する中で「自分でわかること」「自分でできること」を増やし、スタッフも共に成長する					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分まで		
		送迎実施の有無		あり			
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身の回りを清潔にして、食事・衣類の着脱・排泄等の生活に必要な基本的な生活スキルを習得できるよう支援します。 時間や空間を分かりやすく整えて、生活の中の様々な遊びを通して学べるようにしています。 ○トイレトレーニング・衣服の着脱・荷物の準備や片付け・食事動作 ○掲示物や子どもへの伝え方（視覚提示など） ○クリーン活動					
	運動・感覚	椅子に座って待つ、立つなど姿勢を保てるよう粗大運動を取り入れ身体のコントロールが向上するように支援します。 課題や遊びの中で微細運動を取り入れ、道具の使い方や目と手などの協調運動の向上を促していきます。 感覚過敏や鈍麻などに配慮しながら、保有する感覚（バランス感覚、力加減、距離感、体の感覚・触覚など）を十分に活用できるように、遊びや活動を通して支援します。 ○微細運動（ひも通し、洗濯ばさみ、プットイン、粘土、工作など） ○粗大運動（トランポリン、マット、サーキット、など） ○感覚遊び（あずき、ボタン、スライムなど） ○外遊び ○散歩 ○公園 ○花苗植え ○水遊び					
	認知・行動	感覚（資格、聴覚、触覚など）から受けた刺激と、環境や自分の状況を理解してその場に合った行動ができるように支援します。 物の形、色、音や空間、時間等の概念の形成を助ける支援をします。 コミュニケーションの困難さ行動障害が生じないように、適切な行動へ導いていきます。 ○型はめ、マッチング、パズル、ブロックなど ○数字、文字、言葉遊びなど ○ルールのある遊び ○おやつ作り（偏食への支援）					
	言語 コミュニケーション	お子さんの発達状況に合わせて、コミュニケーションの手段を選択し、コミュニケーションの基礎的能力が向上するように支援します。 ジェスチャー、カードなどを利用しながら相手の気持ちを理解したり、自分の考えを表現できるよう支援します。 具体的な物事や体験と言葉を結びつけることにより、自発的な発声を促していきます。 ○指さし、身振り、サインなどの活用 ○絵カード ○記号・文字、音声などの活用					
	人間関係 社会性	スタッフと安心できる信頼関係を作り、お友達にも興味を持って小集団から大きな集団に参加できるように段階を踏んだ支援していきます。 絵カードを使用したり、実際の場面を想定した動きをスタッフがやって見せたりして、社会のルールや役割など、社会に適応するために必要なスキルが身につくよう支援します。 ○見立て、つもり遊び ○役割遊び ○お当番 ○ごっこ遊び ○鬼ごっこ、かくれんぼ ○SST ○外出（お買い物など）					
家族支援		本人の意思やご家族からの希望要望を確認して計画に反映し対応します。 必要に応じて面談の機会を設け、現在の状況や希望要望を確認し正しく理解しながら個別支援に反映させていきます。 お迎え時にその日の様子について情報共有し、支援に活かしていきます。 いつでも相談に応じられる環境を整えて、苦情や要望希望に迅速に対応していきます。		移行支援		ご家族と一緒に、準備を行って行きます。 家族からの希望要望を確認しながら、小集団から大きな集団に移行できるように支援していきます。 ライフステージに合わせた支援を行います。 就学前の準備など事業所からも発達して、不安の内容に対応していきます。	
地域支援・地域連携		関係機関と役割分担を行い、自立に向けた支援ができるように情報共有や提案をしていきます。 関係機関と連携を取り、本人とのかかわり方や将来を見据えた支援について、情報共有をします。		職員の質の向上		キャリアパスを実施し、等級に合わせた研修の実施や、スペシャルラーニングを活用しています。 職員間で情報の共有を丁寧に行い、統一した支援を行っています。 ヒヤリハットの共有や事例検討などを行い、実際の支援に活かしています。	
主な行事等		初詣 正月遊び 豆まき お花見 水遊び 七五三参り クリスマス会 お楽しみ会 ありがとう会 季節の工作 季節のおやつ作り 作品展 にこにこ子ども館 カルチャーパーク（屋内遊び場） 避難訓練（地震、火事） 交通安全 合同交流会（緑日・運動会・芋煮会・茶話会など）					